

吉川地域における施設一体型小中一貫校基本構想（案）地域説明会開催結果

日 時： 令和 7 年 7 月 27 日(日) 午後 1 時～午後 2 時 00 分
 令和 7 年 7 月 30 日(水) 午後 7 時～午後 8 時 40 分
 場 所： 吉川町公民館 3 階 大ホール

参加者数：

	就学前保護者	小学生保護者	中学生保護者	一般	吉川町外	計
7/27	9	6	1	17	2	35
7/30	8	2	0	17	10	37
計	17	8	1	34	12	72

質疑内容：

参加者質問	事務局回答
吉川高校周辺の道路は現在、残土処理の大型ダンプの通行が多いが、学校建設にあたってその対策は何か考えているか。	現在ダンプの通行が多い事は認識している。関係課と情報交換しながら状況を確認しつつ、対応を検討する。
現中学校が無くなるのは寂しいが、吉川高校の跡地に建設するのは賛成である。ただ建設費が高騰しているので、既存施設を利用したり、教育内容に費用を充てたりして吉川の子どものための環境づくりをしてほしい。	既存建物についてはそのまま使うのは難しいと考えているが、県と協議し、使える部分は使えるよう検討したい。
9年間のカリキュラムという話だが、途中で私立中学校へ移ることはできるのか。	前期課程 6 年が終了したら、これまでと同様私立中学校への進学は可能である。
子どもの数が減少していく中で、家庭や地域の力がとても重要になってくると思うが、家庭や地域も課題があると思う。教育委員会が積極的に取り組んで良い解決策を見つけてほしい。	将来の生徒数は吉川に関わらず減少する傾向にあり、市全体での課題として捉えている。令和 5 年度にコミュニティ・スクールを導入したが、引き続き地域力の強化について取り組みを進める。
小学校の統合や幼稚園の閉園、認定こども園の民営化等、子どもに関わる環境の変化が激しい中、小中一貫教育の導入で不安や疑問を感じている保護者もいる。統合もそうだが、小中一貫教育のメリット、デメリットが不明瞭なため、賛成も反対もできないが、これまで以上に保護者の意見を丁寧に聞いて進めて頂きたい。	吉川の子どもの数を考えると、小学校の統合は待ったなしであった。また、吉川は統合しても 1 クラスのため、縦に繋げやすい小中一貫教育を効果的に実施したいと考えている。メリット、デメリットはあるが、地域、保護者、学校が力を合わせてメリットを作っていくということも大事。引き続き地域や保護者の意見を丁寧に聞きながら進める。就学前施設での説明会も希望に応じて実施する。
教職員の質の向上が大事だと思うが、それはどう考えているか。	教職員の質は非常に大事だと考えている。様々な研修の実施と合わせて、教職

	員組織として質向上に努めていきたい。
令和 12 年度開校を目標に進めていくのか。	その目標で進めていく。
特に保護者の参加が少ないように思うが、教育委員会の周知が足りないのではないか。	今回全戸配布でお知らせさせていただいた。今回の説明会の結果も地域にお知らせしていく。
基本構想（案）にメリットばかりではなくデメリットも書いた方がいいのではないか。	デメリットについても今後お伝えできるように考える。
5 年後に開校する事業であれば、この基本構想（案）に予算を書きおくべきではないか。	予算は、今後策定する基本計画において概算事業費を算定する予定である。
小中一貫校になったら、子ども一人当たりにかかる教員数は減るのか。	全国統一の基準により、教員数は変わらない。
小学生と中学生が一緒になると、悪影響もあるのではないか。	ほぼ全ての先進校で、一貫校になって良かったのは中学生が小学生に対して優しくなったことだと聞いている。ご心配は分かるが、教職員組織としてより良い人間関係を作れるよう子どもたちと考える場にしていきたい。
今回の説明会開催について、教育委員会からすぐの配信があったが、学校からの配信であればもっと参加者があったかもしれない。それでも説明会を開いて頂いて感謝している。	(回答省略)
特認校制度はどういう子どもが利用できるのか。	三木市内に在住していて、吉川の新しい学校に通学したいと思う子どもであれば利用できる。
特認校制度を利用して通学する場合、スクールバスは利用できるのか。	安全管理の観点から課題があると考えているが、詳細は今後検討する。
新しい学校が吉川高校の場所に建つと、よかわ認定こども園との幼小連携が難しくなるのではないか。認定こども園と一緒に整備する可能性はあるか。	今年度から新たに幼保小連携に関するカリキュラム作成に向けて動き始めている。認定こども園の整備については他地域との関係もあり考えていない。
新しい学校のハード、ソフトについて地域協議会でも様々な具体的な意見があったので、基本構想（案）には具体的な内容を記載してほしい。	ハード、ソフトの具体的な内容については今後立ち上げる開校準備委員会での協議を予定している。